

(入力時間 14:40-16:10 (制限時間: 60分)) 数字は全て整数で入力し，余計なスペースを入れないこと

1. 次の計算をせよ.

$$\begin{bmatrix} 2 \\ -7 \\ 3 \end{bmatrix} [5 \ -2 \ 8] =$$

問1 上記問題の答えを下記選択肢から選べ.

- (1) -5    (2) 48    (3) 58    (4)  $\begin{bmatrix} 10 & -4 & 16 \\ -35 & 14 & -56 \\ 15 & -6 & 24 \end{bmatrix}$     (5)  $\begin{bmatrix} 7 & 0 & 10 \\ -2 & -9 & 1 \\ 8 & 1 & 11 \end{bmatrix}$     (6)  $\begin{bmatrix} 10 & -35 & 15 \\ -4 & 14 & -6 \\ 16 & -56 & 24 \end{bmatrix}$

2.  $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 3 \\ -2 \\ 6 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} 7 \\ -2 \\ 4 \end{bmatrix}$  に対して，次の計算を行え.

問2  $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$  の結果を選択肢から選べ.

問3  $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$  の結果を選択肢から選べ.

問4  $|\mathbf{a}|$  の結果を選択肢から選べ.

問5  $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{a}$  の結果を選択肢から選べ.

問2-5 共通の選択肢：

- (1)  $\frac{\sqrt{50}}{2}$     (2) 0    (3)  $\sqrt{50}$     (4) 7    (5) 48    (6) 49

- (7)  $\begin{bmatrix} 21 \\ 4 \\ 24 \end{bmatrix}$     (8)  $\begin{bmatrix} 10 \\ -4 \\ 10 \end{bmatrix}$     (9)  $\begin{bmatrix} 13 \\ 13 \\ 24 \end{bmatrix}$     (10)  $\begin{bmatrix} 4 \\ 30 \\ 8 \end{bmatrix}$

3.  $\mathbf{A} = \begin{bmatrix} 1 & 5 & -2 & -1 \\ 5 & 7 & -3 & 4 \\ 3 & -3 & 1 & 6 \end{bmatrix}$  のランクを下記のように掃出し法で求める.

最初に，下記の表を完成させる.

1	5	-2	-1	
5	7	-3	4	
3	-3	1	6	
1	5	-2	-1	
0	ウ			②+①×ア
0				③+①×イ

問6 アとして適当な数値を入力せよ.

問7 イとして適当な数値を入力せよ.

問8 ウとして適当な数値を入力せよ.

問9  $\text{rank}\mathbf{A}$  の値を入力せよ.

4.  $\begin{bmatrix} -3 & -1 \\ 25 & 7 \end{bmatrix}$ の固有値, 固有空間の基底を求めよ.

(値を入力する場合には余計なスペースを入れないこと)

問 10 小さい方の固有値を入力せよ.

問 11 もうひとつの固有値を入力せよ. もし, 固有値がひとつなら 999 を入力せよ.

問 12 問 10 の固有値に対応する固有空間の基底を選べ.

問 13 問 11 の固有値に対応する固有空間の基底を選べ.

問 12, 13 共通の選択肢

(1)  $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$     (2)  $\begin{bmatrix} 1 \\ 2 \end{bmatrix}$     (3)  $\begin{bmatrix} 1 \\ -2 \end{bmatrix}$     (4)  $\begin{bmatrix} -5 \\ 1 \end{bmatrix}$     (5)  $\begin{bmatrix} 1 \\ -5 \end{bmatrix}$     (6)  $\begin{bmatrix} -1 \\ 1 \end{bmatrix}$

(6)固有値はひとつなので, 問 4 の答はない.

5. 次の行列の幾何学的重複度と代数的重複度を求め, 対角化可能であるかを判断せよ. なお, この行列の固有値は 2 個ある.

$$\mathbf{A} = \begin{bmatrix} 7 & 0 & 0 \\ 0 & 7 & 0 \\ 3 & 0 & -5 \end{bmatrix}$$

問 14 小さい方の固有値に対応する代数的重複度を入力せよ.

問 15 大きい方の固有値に対応する幾何学的重複度を入力せよ.

問 16 この行列は対角化可能か?

(1)可能      (2)不可能

6. 3点  $\mathbf{x}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ -3 \\ 2 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{x}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ -5 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{x}_3 = \begin{bmatrix} 6 \\ -3 \\ 3 \end{bmatrix}$ を通る平面の方程式を求める.

問 17 この平面の法線として正しいものを選択肢の中から選べ.

(1)  $\begin{bmatrix} 3 \\ -35 \\ -15 \end{bmatrix}$     (2)  $\begin{bmatrix} 37 \\ 4 \\ -11 \end{bmatrix}$     (3)  $\begin{bmatrix} -9 \\ 67 \\ -23 \end{bmatrix}$     (4)  $\begin{bmatrix} 7 \\ 71 \\ 12 \end{bmatrix}$     (5)  $\begin{bmatrix} -1 \\ 0 \\ 6 \end{bmatrix}$     (6)  $\begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 2 \end{bmatrix}$

問 18 この平面上の点を  $\mathbf{x} = \begin{bmatrix} x \\ y \\ z \end{bmatrix}$  としたとき, 陰関数表示としたこの平面の方程式を下記の選択肢から選べ.

(1)  $-11x - 4y + 8z + 43 = 0$       (2)  $3x - 35y - 15z - 78 = 0$       (3)  $-9x + 67y - 23z = 0$   
 (4)  $-9x + 67y - 23z + 51 = 0$       (5)  $-x + 6z - 5 = 0$       (6)  $23x + 2y + z - 17 = 0$

7.  $R^3$ において  $\mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ -3 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} -2 \\ -5 \\ 0 \end{bmatrix}$ により張られる(生成される)空間を  $U$  とする.

$\mathbf{x} = \begin{bmatrix} x \\ y \\ z \end{bmatrix}$ としたとき,  $\mathbf{x} \in U$ となる条件を求めよ.

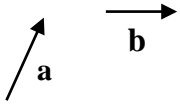
問 19  $\mathbf{x} \in U$ となる条件として適切なものを選択肢より選べ.

(1)  $15x - 6y + z = 0$       (2)  $15x - 6y + z - 6 = 0$       (3)  $x - 7y - 3z = 0$   
 (4)  $x - 7y - 3z + 10 = 0$       (5)  $x + 2y + z = 0$       (6)  $2x - 3y + 5z - 2 = 0$

計算問題は計算過程も書くこと。答だけのときには×とすることもある。

学年 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_ 学生番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

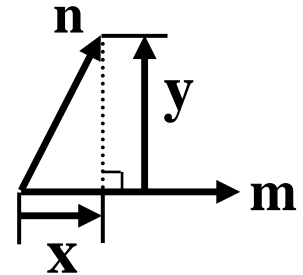
1. ベクトル  $\mathbf{a}$ ,  $\mathbf{b}$  が以下のように定義されている。ベクトル  $-\mathbf{a}-3\mathbf{b}$  を図解せよ。



2. 方程式  $-5x-2y+7z=0$  の解空間 ( $V$  とする) の次元と一組の基底を求めよ。

3. グラムシュミットの直交化に関する次の問に答えよ。

- (1) 右の図のベクトル  $\mathbf{x}$ ,  $\mathbf{y}$  をベクトル  $\mathbf{m}$ ,  $\mathbf{n}$  により表せ。求め方も書くこと。  
図解して説明すること。



- (2),  $\mathbf{m} = \begin{bmatrix} -2 \\ 5 \\ -1 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \end{bmatrix}$  としたとき,  $\mathbf{x}$ ,  $\mathbf{y}$  を計算せよ。

- (3) (2)の結果を利用して, 一組の正規直交基底を作れ。